



国際会長ニュース

2025年5月号

ワイズメンズクラブ国際協会

A・シャナヴァスカーン

国際会長 2024/25



親愛なるワイズメンズクラブ国際協会の会員、友人の皆さまに。

現在、ガボローネで開催されているアフリカ南東区の会議に出席しています。ボツワナから皆さんとお話できることを大変嬉しく思います。世界のこの地域でメンバーのエネルギーと献身を目の当たりにし、本当に感動的な経験をしました。

私の訪問中、私たちは、区における指導力とトレーニング能力を高めることを目的としたトレーナー訓練(TOT)プログラムを実施する機会を得ました。私は、ジョース・ヴァルギース国際書記長、ベズウェル・ムペンブルワ地域会長、ジャレド・ムシマ理事とともに、区の役員、部長およびボツワナで新たに結成されたクラブのリーダーを任命する機会に恵まれました。大会は、セビー・ジョースクラブ会長とチーム・ボツワナが素晴らしいホストとなり、私たちは新しい部・南アフリカ部の創設に興奮しています。

ボツワナ国会の現野党党首であるドゥメラン・サレシャンドをはじめ、国会議員、各国大使、ボツワナを代表するビジネス界の方々にも臨席いただき、この意義深いイベントに参加することができました。この区で起きている目覚ましい再生に立ち会うことができ、希望と誇りに満ちています。また、サレシャンド閣下が2025年2月にチャーターされたガンジのワイズメンズクラブに間もなく参加することを嬉しく思います。

先月、私たちは世界マラリアデーを立派に祝いました。この重要な大義に向け、インパクトのある大規模な取り組みを組織してくれた北、東、北東インド区、カメルーンYMCA、カッタックYMCAに特別な感謝を捧げます。あなた方の献身と奉仕は、深く評価されています。

私は、今年度のエクステンションの進展に興奮しています。すでに105以上の新クラブを加盟させ、その勢いは止まりません。6月には、ポルトガル、スコットランド、ウィーン、ローマ、英国(ロンドン)で新クラブの加盟が予定されています。これらの節目は、ワイズメンズクラブ国際協会(YMI)が世界中に広がり、力を増していることを反映しています。

2025年5月2日から4日まで、インドで開催される次期クラブ会長研究所のトレーナーズトレーニング(TOT)プログラムに参加する予定です。それに先立ち、私はジョース・ヴァルギース国際書記長共にコッタヤムワイズメンズクラブ50周年記念式典に参加します。それは、私たちの運動にとって誇らしい瞬間です。

6月には、ノルウェー、デンマーク、南西インドの区大会とインド地域大会に出席することを心待ちにしています。これらの集まりは、私たちの親睦を強め、共通の使命を前進させるために極めて重要です。

年末までにアジェンダ25で掲げた目標を達成するため、私たち全員が引き続き熱心に取り組んでいきましょう。共に力を合わせれば、永続的なインパクトを与えることができるのです。

仲間のワイズメン、ワイズウィメンたちよ、私たちの運動をこれまで以上に力強く成功させるために、「立ち上がろう、そして輝こう」。



A・シャナヴァスカーン国際会長

編集長から

国際会長ニュースへのご意見・ご感想をお寄せください。

6月の強調月間は、
ワイズメンズクラブ国際協会の歴史、YMCAとの関わり、そしてこの1年間の振り返りです。

クリックして
インパクトストーリーを
2025年5月15日
までに送ってください。

編集長へ





国際本部ニュース

国際書記長ジョース・ヴァルギース

ジュネーブからのご挨拶

5月は、若者のエンパワーメントとリーダーシップ開発に捧げられます。将来を見据えるとき、若い会員を参加させ、その力を身につけさせることは、決してオプションではなく、必要不可欠であることを再認識させられます。

ユース・エンパワーメント

私たちの運動の活力と持続可能性を確保するためには、クラブが若い会員を積極的に参加させ、オーナーシップと自主性を促す有意義な役割を担わせることが極めて重要です。青少年に投資することで、私たちはより包摂的に成長し、私たちの世界的な長期計画である「戦略2032」との整合性も高まります。クラブや地域社会に優れた若いリーダーがいたら、ぜひご紹介ください！彼らの感動的な活動にスポットライトを当て、YMIファミリー全体で彼らの声を増幅させましょう。

トレーニングと能力開発

インスピレーションに満ちた効果的なリーダーシップは、あらゆる組織の礎ですが、強力なリーダーシップは、偶然に生まれるものではありません。そのため、私たちは、あらゆるレベルで定期的なトレーニングと能力開発イベントを継続的に奨励しています。マニュアル審査委員会などからの支援を受けて、私たちは、適切でアクセスしやすく、魅力的なリソースを維持することに尽力しています。また、インタラクティブなオンラインワークショップや、現代向けにデザインされた自習モジュールなど、新しい形式を模索することを楽しみにしています。

経験豊かな会員が若い会員をクラブ運営、価値観に基づくリーダーシップ、奉仕について指導するメンターシップ・モデルが人気を集めていることを嬉しく思います。これは、新鮮なエネルギーとアイデアを育みながら知恵を伝える強力な方法です。

YMCAとの協力

国際本部は、青少年に焦点を当てた世界最大の組織として広く認知されているYMCAと緊密な連携を続けています。価値観を共有し、国連の持続可能な開発目標(SDG)、特に教育、環境、健康、福祉の分野に共通の関与を持つこのパートナーシップは、私たちの総合的な影響力を強化します。

新しいロールバックマラリア・プログラム

4月25日、私たちはマラリア撲滅(RBM)のパートナーシップ事業を発足させました。このマルチステークホルダーの取り組みは、YMI加盟クラブ、各国YMCA同盟、保健省、その他志を同じくする団体を結集し、草の根の行動と協調的な影響力を通じてマラリアと闘うものです。カメルーン、ケニア、ザンビア、インドで試験的な活動が進行中であり、これらの地域から定期的に体験談や写真が寄せられ、共有されることを楽しみにしています。

国際会計選挙

2月のエリック・ブレオムの死去により空席となった国際会計のポジションを埋める臨時選挙は、5月22日に締め切られます。この重要な民主的手続きに参加するよう、資格のあるすべてのクラブに呼びかけます。選出された候補者は、この重要な役割に献身と財務管理をもたらしてくれるものと確信しています。

今後に向けて

私たちは、すべてのクラブとクラブ会員に、包摂、学習、共有リーダーシップの文化を構築することを決意するよう呼びかけます。ともに、YMIの力強い未来を築いていきましょう。



YMIは、慈悲、謙虚さ、そして平和、正義、すべての人々の尊厳への揺るぎない関与を体現した生涯を送った偉大な精神的人物であるフランシスコ法王の逝去に対し、深い悲しみと心からの哀悼の意を表します。

世界中で法王は、愛、包摂、奉仕という深遠かつ簡単なメッセージを通して、信仰、国籍、性別に関係なく何百万人もの人々を鼓舞しました。法王の遺産は、団結の道標として、また優美さと勇気をもって人類に奉仕するよう呼びかけるものとして、今後も語り継がれることでしょう。

この深い喪失の時、私たちは、世界のキリスト教共同体、カトリック教会、そしてこの驚くべき信仰の羊飼いの死を悼むすべての人々とともに祈りと連帯のうちに立ちます。.



韓国地域最新情報

YMI韓国地域 第15代会長就任式

4月18日、慶尚南道の昌原(チャンウォン)コンベンションセンターで、約300人の地域の指導者が出席し、第15代韓国地域会長就任式が行われました。

イベントは、韓国の伝統音楽の演奏で幕を開け、退任するパク・ジョンアン地域会長、パク・チャサン次期地域会長、全11区の現・次期区理事によるバナーセレモニーが行われました。新地域会長の就任式は、ムン・サンボン元国際会長によって執り行われました。

退任するパク・ジョンアン地域会長が、式典の開会を宣言し、ハン・イルウク前地域会長(2023-24)が、祝福の祈りを捧げました。最近加盟したユースクラブのメンバーは、将来の世代に対する組織の関与を象徴する「ワイズメンの目的と行動規範」を読み上げました。

韓国地域最高の栄誉であるウム・ヨソプ賞、国際会長賞、役員賞、理事功労賞、ABR賞、次世代ユース・リーダー賞など、いくつかの栄誉が授与されました。また、馬山YMCAと山火事被災者基金への寄付も行われました。ABR賞では、全北が最優秀区に、済州と大邱・慶北が優秀区に選ばれました。

別れの挨拶の中で、パク・ジョンアン地域会長は、ABR政策の着実な進展を振り返り、将来を見据えたリーダーシップと若者の参画の重要性を強調しました。

パク・チャサン次期地域会長は、「調和の中の協力、共有された未来」というテーマと「挑戦、情熱、愛」というスローガンの下、指導にあたることを誓いました。パク次期会長は、15の新クラブの設立、会員数の増加、青少年のリーダーシップの育成、YMCAとの協力関係の強化など、主な目標を説明しました。

2025/26地域チーム全員が歓喜のダンスを披露し、イベントに華やかさと思い出を添えました。感謝と激励、そして未来への希望に満ちた就任式は、盛況のうちに幕を閉じました。



パク・ジョンアン退任地域会長、ムン・サンボン元国際会長、パク・チャサン次期地域会長



パク・チャサン次期地域会長、イ・グァンソプ地域書記



韓国地域25～26年 次期地域会長と区理事

3か国IBC

トライアングル活動

韓国：インチョンムンハククラブ
日本：京都メープルクラブ
台湾：台中エバーズスプリングクラブ

40
Years



友情の始まり

1984年5月19日、インチョンムンハククラブと京都メープルクラブはIBCに調印し、1991年2月2日、インチョンムンハククラブ、京都メープルクラブ、台中エバーズスプリングクラブは3か国のIBCトライアングル協定に調印し、歴史的で意義深い国際ブラザークラブが誕生しました。

プログラム

- ・3カ国クラブの全メンバーは毎年3月か4月頃に順番にホスト国のクラブを訪れ、2泊3日の合同IBC例会を開いてきました。
- ・各クラブの幹部5名で構成される3か国のIBC会議では、合同奉仕計画が話し合われ、さまざまな文化交流や探訪活動が行われてきました。
- ・各クラブが1,000米ドルを集め、合計3,000米ドルの共同奉仕基金が作られ、ホスト国のクラブを通じてYMCAへの支援や地震などの被災地への救援活動に使われ、国際的な連帯と実践的な奉仕の模範が40年間続いています。

子女プログラム

3か国間の子女交流プログラムも長い伝統を誇っています。毎年8月の夏休みに、子女は、ホスト国を1週間訪問し、ホームステイをしながら、キャンプ、歴史ツアー、文化交流、トピックディスカッションなど様々なプログラムに参加します。しかし、メンバーの高齢化により、子女交換プログラムは、一時中断しています。

2024-25の活動

今回の2024-25 IBCトライアングル・イベントは、3月22日（土）から24日（月）まで台湾の台中、台中エバーズスプリングクラブで開催されました。

初日は、歓迎会、文化交流会、プレゼント交換、親睦会が行われました。2日目は、東勢森林公園を訪れ、3か国IBCミーティングが行われました。夜には、インチョンムンハククラブ（14名）、京都メープルクラブ（14名）、台湾区各クラブの会員など約200名が参加し、台中エバーズスプリングクラブ40周年記念イベントと3か国IBC合同例会が同時開催されました。このイベントで、3か国IBCボランティア基金3,000ドルがYMCAを通じて震災被災地に届けられました。

40年間続いている3か国IBCトライアングル活動は、3クラブ間の緊密な絆を形成し、ワイズメンズクラブ国際協会の模範的な国際交流モデルとしての地位を確立しています。





3か国IBC

トライアングル活動

40
Years

韓国：インチョンムンハクラブ
日本：京都メープルクラブ
台湾：台中エバースプリングクラブ



3クラブのメンバー

2024-25 ギャラリー



台北国際空港での歓迎



3か国IBC会議



合同基金の贈呈



3か国合同IBC例会



文化交流



東勢森林公園への訪問

「リーダーシップトレーニング および組織開発」

LTOD国際事業主任 ティボール・フォキ

ご挨拶申し上げます！

「リーダーシップトレーニングおよび組織開発」(LTOD)担当の国際事業主任として、新任の役員の皆さんそしてワイズメンズクラブ国際協会の全メンバーが力を発揮できるようデザインされた研修の機会を共有できることを嬉しく思います。

2月にインドのトリバンドラムで開催された次期理事サミットに次期の理事/地域会長として参加された方は、リーダーシップのスキルを磨き、意見を交換し、有意義な協力関係を築いて、これからの1年を支えるであろう貴重な機会を経験されたことでしょう。

皆さんのリーダーシップの旅を引き続きサポートするため、さまざまな研修資料を <http://www.ysmen.org> からオンラインで入手することができます。

利用可能なリソースには、以下が含まれます。

- YMI 入門パワーポイントと小冊子
- YMI の歴史(3 部構成のビデオシリーズを含む)
- YMI の国際憲法と付則
- YMI の行動規範
- 各種役員の役割と責任(クラブ会長から協議会代表者(国際議員)まで)
- Gold 2.0 リーダーシップ・モジュール
- 様々な国際プログラムやプロジェクトに関するパワーポイント、ビデオおよび各種宣伝・情報資料

これらの資料のほとんどは、ウェブサイトの「研修」または「ダウンロード」のセクションにあります。探している資料が見つからない場合や利用可能な資料の中に不足がある場合は、遠慮なく私またはIHQスタッフにご連絡ください。マニュアル審査委員会のサポートと、皆さんからの貴重なご意見をもとに、私たちは、トレーニング内容を常に最新で、適切かつインパクトのあるものにするを目指しています。トレーニングセッションの開催や進行のお手伝いについては、まず、エリアLTODにご連絡ください。さらにサポートが必要な場合は、私がいつでもお手伝いします。

ワイズメンズクラブ国際協会の各レベルで、自信に満ち、献身的なリーダーを作り続けましょう。皆さんの成長と参加は、私たちの運動を強化し、奉仕を通じて世界的な影響を拡大するために不可欠です。

奉仕と親睦にあつて、皆さんのLTOD国際事業主任
ティボール・フォキ

fokiscopeit@gmail.com

2025 世界マラリアデー

4月25日-マラリアは、私たちとともに終焉を迎える
再投資、再構築、再活性化

2008年以来、YMIは、マラリア撲滅のための意識向上と資金集めに取り組んできました。蚊帳、救命治療、予防キャンペーンのために100万スイスフラン近い資金を集めることができました。

YMIのロールバックマラリアプロジェクトの次の段階は、アフリカとインドで始まり、前例のない協力によって推進されます。YMIのクラブと地域のYMCAは、各国の保健省やその他の機関と協力し、ワクチンの普及活動を拡大し、最前線で働く保健ワーカーを動員し、草の根の活動を通じて地域社会にインパクトを与えることを目指しています。2025年の世界マラリアデーを祝うにあたり、私たちは持続的な変化へのコミットメントを表明しました。団結、思いやり、そして大胆な各地のパートナーシップによって、マラリアは、私たちとともに終焉を迎えるのです。



カメルーン-YMCA 2025世界マラリアデーキャンペーン

アフリカ地域 カメルーン



世界マラリアデーを覚えて、2025年4月25日、この日は、アフリカでの主要な疾病のひとつであるマラリアに焦点を当てる日ですが、ヤウンデのIPONIカレッジとカメルーンYMCA事務所周辺で啓発キャンペーンが行われました。このイベントは、ワイズメンズクラブ国際協会の活性化されたロールバックマラリア(RBM)プログラムが、特にYMCA、国の保健当局、コミュニティベースの組織との地域的パートナーシップに重点を置いて再構築される中で、地元での最初の取り組みのひとつとなりました。

約580人の生徒がマラリア予防に焦点を当てた教室での教育セッションに積極的に参加し、さらに50人の地域住民が主要な予防方法について感化されました。ワイズメンズクラブ国際協会の支援を受けたカメルーンYMCAが主催したこのキャンペーンは、蚊帳を使用すること、淀んだ水を排除すること、症状が出たら速やかに医療機関を受診することの重要性を若者たちに理解させました。

このキャンペーンは、学校コミュニティに具体的な影響を与えました。

IPONIカレッジの学務部長はこう語ります：「人々に既によく知られているこの病気に取り組むこのキャンペーンは、マラリアが不登校や落第の原因となっていますので大変重要です。マラリアを撲滅できれば、学校の及第率も上がるでしょう。」

生徒たちも同様に励まされました。

あるフォーム生徒IIは、こう話してくれました：「この研修に感謝します。予防対策—特に今まで怠っていた蚊帳の使用を守ろうという気になりました。」

この取り組みは、カメルーンYMCA保健専門家ネットワーク(CY-HPN)の18人のボランティアが中心となり、5つのチームに編成されました。教室でのセッションに加え、アウトリーチ活動は、周辺地域にも広がり、店主や地域住民を交えた対面式の話し合いが行われました。

キャンペーン終了時に実施された迅速な評価では、90%以上の生徒が予防法を知っていたものの、半数以上が一貫して実践していなかったことがわかりました。主に、不注意や殺虫剤処理済み蚊帳などの道具の限られた使用が原因です。何人かの生徒が、推奨された方法を採用し、クラスメートや家族と情報を共有する意向を示しました。

この結果に勇気づけられ、カメルーンYMCAは、現在、予防行動へのコミットメントを新たにし、処理済み蚊帳を配布し、ワクチン接種を含む推奨される対策の実施状況を評価することに焦点を当てた、より広範囲なフォローアッププログラムを構想しています。このような取り組みは、カメルーンのマラリア削減努力に有意義な貢献をするでしょう。



主催者からの声明

「今年のWHOのキャンペーンの目的と密接に関連し、私たちの優先事項は、予防策を遵守するという若者のコミットメントを再燃させ、家族、隣人、地域社会といった周囲の人々の意識を高めることでした」。

- ソニア・チェドム医師、キャンペーン・コーディネーター、カメルーンYMCA保健専門家ネットワーク代表

「今回のキャンペーンで、知識と実践の間にギャップがあることを目の当たりにした私は、すべての人口集団を対象とし、行動を促すフォローアップキャンペーンが、マラリア削減に大きく役立つと強く確信しています。」

- ナタン・ジェシー CY-HPN事務局長

世界マラリアデーに、YMIの「ロールバックマラリア」(RBM) プロジェクトがネネイルで発足

2025年4月25日カッタック、オデシャ、インド
カッタックYMCAと協同でYMI 北・東・北東インド区によって



2025年4月25日、カッタックYMCA(1983年設立)の協力のもと、北・東・北東インド区(ネネイル)でロールバックマラリア(RBM)プロジェクトが正式に発足しました。この取り組みは、ワイズメンクラブ国際協会の世界的なRBMプログラムの再ブランド化と再出発を意味し、YMCA、国家保健省、草の根コミュニティ活動を含む地域パートナーシップに新たな重点を置いています。

この発表に先立ち、エッセイ、プラカード、アートの各部門で、学校や大学の学生を対象としたコンペティションが開催されました。世界マラリアデーの前夜に開催されたイベントでは、入賞者に表彰状と賞品が授与されました。また、ロールバックマラリアとワイズメンズクラブ国際協会のロゴ入りキャップが数百個、この機会に参加者に配布されました。

4月25日、正式な立ち上げは、学校の生徒、YMIクラブのメンバー、YMCAのメンバー、そして、医療従事者主任に率いられたカッタック地区医療局の代表者など、300人以上の参加者による人間の鎖の形成から始まりました。参加者は、プラカードや長い横断幕を持ち、マラリアの脅威に対する人々の意識を高めました。このイベントは、地元の報道機関にも取り上げられ、マラリアへの認識向上活動と、この地域におけるワイズメンズクラブ国際協会の活動の認知度を大幅に向上させました。

発足式は、オリッサ州高等裁判所の元判事であるA・S・ナイドゥ判事、カッタック市の地区医療・公衆衛生チーフディレクター兼地区ミッションディレクターであるプラサンタ・クマール・ホタ医師、RBM委員会の国際委員長であるT・Kジャヤクマール、NENEIRの区理事であるプラサンナ・クマール・ナンダが座長を務めました。その後、カッタックYMCAの会議場にて公開ミーティングが行われました。



その日のうちに、RBM委員長のT・K ジャヤクマールと区理事のプラサナ・クマール・ナンダがYMIとYMCAの役員に加わり、地区とブロックの医務官と協議を行ないました。この発足式に出席するために特別出張してきたジャヤクマール委員長が、RBMプログラムの目的と戦略的方向性を発表しました。

YMIとYMCAの役員は、また、計画されている協力のプロセス、範囲、予想される影響について予備的な話し合いをするために、別の会合を開きました。

この取り組みの主な目的は、オディシャ州政府保健局と連携して、マラリア撲滅への意識を高め、協調的な努力を結集することです。期待される主な成果には、マラリアによる死亡率の継続的な低下と、病気による生産性の低下の減少が含まれます。

今後数週間以内に、YMIとカットタックYMCAは、保健省とともに、これらの目標に沿った戦略を共同で策定し、実施する予定です。



昇天の日

キリスト教強調国際事業主任 ビリー・モルゴー



聖金曜日(受難日)、イエスは十字架上で亡くなりました。復活祭の日曜日、彼は再び命を蘇らせました。非常に良い日であり、素晴らしい日でした。最初の復活祭から40日間の間、イエスは弟子たちに現れ続けました。ある意味では、彼は以前と異なる姿で現れました。二人の友人が道で彼に従いながら話しかけた時、彼だと気づきませんでした。しかし、他の時には、彼は弟子たちに現れ、彼らはすぐに彼が誰であるかを知りました。すなわち、ナザレのイエスで、死んだはずの彼が再び生き返ったのです。

しかし、これらの素晴らしい日々は、終わりを告げました。私たちが現在「昇天の日」と呼ぶ日(つまり、イースターから40日後の木曜日)に、イエスは最も親しい弟子たちをエルサレムのすぐ外にある山(オリーブ山)の頂上へ導きました。まず、イエスは彼らに、自分は彼らを一人にすることはなく、聖霊が彼らに降りてきて、永遠に共にいると告げました。また、弟子たちに、世界中を旅し、自分について、そして自分がした事、教えた事を伝えるように命じました。その後、イエスは天に昇りました(詳しくは使徒言行録第11章をお読みください)。



オリーブ山(816m)の最高地点に位置する昇天の聖堂



ロシア昇天教会は、最も高い塔を擁しています。これはエルサレムの寺院広場から見た様子です。

昇天の日は、イエスが地上での生涯を終えた日です。これは悲しい日ではなく、喜びの日、祝うべき日です。現在、イエスは地上での使命を終え、天に帰られました。弟子たちは、イエスが地上ですべての業を成し遂げたことを理解し、その業を続けるべきだと悟りました。キリスト教徒は、イエスの望み通りに人生を生き、やがて天でイエスと共にいられることを信じています。

昇天の日は、世界中でさまざまな形で祝われています。一部の地域では、イエスの像や十字架が教会の屋根の穴から引き上げられます。

YMIでは、他者にとって何かとなることでイエスのように生き、その結果、世界をより良い住みやすい場所にする 것을目指しています。

TOFプロジェクトの 世界各地の取り組み

インド・ケララ州TOFプロジェクト：「ワイズメンビレッジ」 ジェッダ・ワイズメンズクラブと中東区のワイズメンズクラブによるプロジェクト



中東区のワイズ運動は、ケララ州カルティカッパリーでワイズメンビレッジの6軒の住宅の基礎石敷設式典が成功裡に開催されたことで、重要な一歩を踏み出しました。

地元住民、ワイズメンリーダー、村議会および地方自治体関係者、教会代表、政治党员、および住宅を提供された家族が参加したこのイベントは、団結、慈愛、そして奉仕の精神に満ちたものでした。

日本におけるTOFプロジェクト：長期にわたり学校に通えない児童生徒への対応

長期にわたり学校に通えない児童生徒への対応」プロジェクト(TOF24-03)は、日本の山田公平理事が主導し、2025年に開始されたプロジェクトで、通常の学校に通えない「不登校」と呼ばれる児童生徒を支援することを目的としています。この取り組みは、宇都宮と甲府で、地元のYMCAの積極的な参加により、成功裡にスタートしました。2月の勉強会には、日本を代表するアスリートの一人である岡篤志さんがゲストとして参加し、教育上の困難を乗り越え、フランスで自転車競技への情熱を見出し、日本を代表するライダーの一人となるまでの経験を共有しました。他のYMCA、例えば盛岡と埼玉のYMCAもプロジェクトへの参加に興味を示しており、今後の拡大の可能性が浮上しています。参加を促進するため、山梨ととちぎのYMCAの成功事例を共有し、参加を確実にすることを目指しています。今後、宇都宮市で大規模なイベントが計画されており、100人を超える不登校の児童生徒が参加し、特別活動の実演を行う予定です。このプロジェクトは、伝統的な教室の枠組みを超えて進路を探る児童生徒に希望を与えるでしょう。



プロロードレース選手の岡篤志さんを囲んで



ルーマニアの ワイズメネット事業

2024 年、ワイズメネット国際協会は、ルーマニア YMCA の「トゥギャザーフッド・プロジェクト」を支援することを決議しました。このプロジェクトは、[2022 年 YMCA 会長賞](#)を受賞したルーマニア YMCA 同盟の総主事・アリーナ・ポップが、タイム・オブ・ファスト (TOF: 断食の時) に申請したものです。その重要性を認識し、ワイズメネットは、要請された 15,000 スイスフランを、一般プロジェクト基金から全額支援することを決定しました。このプロジェクトは、ウクライナとルーマニアの若者のニーズに応える重要な取り組みであり、特にルーマニア最大の都市の一つで、ウクライナ国境から 50 キロメートルに位置し、現在進行中の戦争から逃れる家族たちの自然な避難場所となっているバイア・マレ地域を対象としています。

最近受け取った進捗報告書は、プロジェクトの活動と影響を強調しています。2025 年 2 月から 3 月までの期間におけるものです。この取り組みの核心は、クライナの 6 歳から 13 歳までの子どもを対象とした放課後プログラムで、温かい食事、学業支援、ルーマニア語の授業をしています。目標は、創造的な体験と身体活動を組み合わせた活動を通じて、子どもたちが意欲を維持し、ウェルビーイングと統合を促進することです。

最近の予算削減により、他の 2 つのセンターが閉鎖を余儀なくされたため、ルーマニア YMCA は現在、バイア・マレでウクライナ難民の子どもたちを対象とした放課後支援サービスを提供する唯一の団体となっています。これにより、このプログラムは、これまで以上に不可欠なものとなっています。

メンタルヘルスと心理社会的支援は、2 人のライセンスを取得したウクライナ人セラピストが主導し、プログラムをさらに充実させ、独自性と包括性を兼ね備えたものとしています。個別のセラピーセッションとグループセラピーを通じて、「やさしい子育て」アプローチを基盤に、これらの専門家は、ケア・ギバーが子どもたちの癒しと発達を支援する、感情的に安全で養育的な環境を築く手伝いをしています。



統合とトラウマカウンセリングに焦点を当てた取り組みに加え、このプロジェクトは、リーダーシップ開発にも投資しています。3月、ルーマニア YMCA は、ウクライナ各地から集まった 8 人の若手の YMCA リーダーを招き、国際トレーニングキャンプを共催しました。このキャンプは、若年層支援者やキャンプリーダーの能力向上を目的とし、包摂的なリーダーシップ、安全管理、プログラム設計、異文化学習に関するトレーニングを実施しました。

戦争の開始以来、ワイズメンズクラブ国際協会は、その被害者への支援を揺るぎないものとして続けてきました。その最初の取り組みとして、2022 年 2 月に当時の国際会長キム・サンチェから、[「ウクライナに関する声明」](#)が発表されました。その後、募金キャンペーンが開始され、現在までに「ヒールザワールド基金」は約 50,000 スイスフランを拠出し、YMCA が主導する取り組みを含む様々な救援活動を支援してきました。

紛争の初期段階から、世界 YMCA 同盟とヨーロッパ YMCA 同盟は、ルーマニア YMCA と緊密に協力し、難民支援活動を強化してきました。2022 年 2 月 25 日までに、現地の NGO と連携し、YMCA はテントを設置し、ウクライナから到着した約 5 万人と推定される難民を支援しました。2022 年 5 月、世界 YMCA 同盟総主事カルロス・サンヴィーとヨーロッパ YMCA 同盟総主事ホアン・シモエス・イグレスィアスが訪問しました。その訪問のハイライトは、[こちら](#)をご覧ください。

YMI は、ワイズメネット国際協会が、戦争の影響を緩和するための取り組みに積極的に参加したことに、心より感謝申し上げます。彼らは、思想と行動の両面で真のパートナーシップを体現するものです。ワイズメネット国際協会は、ルーマニア YMCA と共に、ケア、エンパワーメント、希望の回復力のあるネットワークを構築する支援を行っています。これは、コミュニティの力と、困難な時代においても抑圧された人々を支援する私たちの共通のコミットメントの真の証です。

[報告書全文](#)をご一読いただき、プログラムの受益者たちの感動的な物語と、彼らが癒やされ、再建し、繁栄するための支援活動についてご確認ください。



Week4Waste

世界の各地から



富士五湖ワイズメンズクラブ。河口湖湖畔にて



台湾・タイペイセントラルワイズメンズクラブ



川越ワイズメンズクラブ



東京多摩スマイルワイズメンズクラブ



デンマーク・バイレワイズメンズクラブ



アレクセイ・ワシリエフ率いるロシアのワイズメンズクラブ国際協会会員

YMI最新情報 世界の各地から

アフリカ地域



ワイズメンズクラブ国際協会 第26回アフリカ南東区大会開催地:アフリカ地域・ボツワナ

アジア太平洋地域



台湾区における次期リーダートレーニング



台北ベータワイズメンズクラブ、献血キャンペーンの成功おめでとうございます。



マンダレーYMCAへのチェンライ、チェンマイ、バンコクの各ワイズメンズクラブからの献金。チェンライYMCA、チェンマイYMCA、ニューライフ教会とともに。

インド地域



ワイズメンズクラブ国際協会と在ニューデリーのワイズメンズクラブが、ニューデリー訪問中の世界YMCA同盟執行委員会のために特別なレセプションを開催しました。

ヨーロッパ地域



在モルドバのワイズメンズクラブ国際協会加盟クラブは、同国に避難しているウクライナ人難民の支援に全力を尽くしています。



コソボのYMCAと協力して、コソボのジャコバのワイズメンズクラブが主導した取り組みは、定年退職者の心身の健康増進を図ることを目的としています。